

令和2年7月31日（金曜日）

足立議員 抜本的な治水対策を 20年7月豪雨参院国交委で質疑

自民党の足立敏之参院議員は30日の参院国土交通委員会で、2020年7月豪雨による水害を踏まえ今後の治水対策について質問した。写真。建設中止となっている川辺川ダムの治水効果が一吉地点で水位を2・5m低下させるとした上で

「被害の軽減効果は大きいと確認している」と強調。既存の市房ダムを再生し有効活用したり、さまざまな対策を組み合わせたければ、抜本的な治水対策になると訴えた。

赤羽一嘉国土交通相は「気候変動によって従来の常識を越える災害規模となり、甚大な被害が頻発して



いる。人吉盆地は狭いので毎年のように洪水が起こっていると同った。再度災害を防止し、住民の皆さんの命と暮らしを守る事が一番大事だ。上流、下流、本川、支川の流域全体を俯瞰（ふかん）しながら、流域治水と

沿川の街づくりとあわせて抜本的な治水対策を要望された。基本的なベクトルは同じ方向だと感じた。県としっかり連携し、未来に向けて禍根を残さない抜本的な治水対策を進めていきたい」と述べた。

して抜本的な対策を講じなければいけない」となどと答弁した。19、20日と熊本県人吉市など被災現場を視察した足立氏は「球磨川沿川の市町村長からは